



東海道の光景



松並木プロムナード

平成19年、区民と横浜市の協働により、旧東海道を象徴する松並木が蘇った。



金沢横丁

金沢や鎌倉に向かう道との分岐点に石碑が4基並んでいる。



保土ヶ谷宿 草葺屋根の家が続く。

「旧東海道」

古くから旅人にとって重要な「道」であった東海道。沿道には、時代の変遷を見届けてきた歴史資産が数多く残っている。ここ保土ヶ谷でも旅籠はたごや道案内の石碑などに、東海道の面影を見ることができる。



箱根駅伝（狩場町） 現在の狩場インターあたり。
奥が戸塚方面なので、復路のようだ。



旅籠本金子屋跡 江戸時代、旅籠として栄えた
本金子屋。



旧東海道保土ヶ谷 天王町駅前から保土ヶ谷駅方面。
商店街のアーケードに昭和の時代を感じる。



軽部本陣跡 東海道を往来する幕府の役人や大名は宿場に設置された本陣に
宿泊した。



御所台の井戸
尼將軍化粧の井戸（政子の井戸）と呼ばれる。
平成18年になってから整備され、きれいになった。